

卒業の認定に関する方針

1. 学位授与方針（デプロマ・ポリシー）

① グラフィックデザイン学科

グラフィックデザイナーとして必要とされるコミュニケーション能力、理解力・分析力・構成力を身につけ、ポスター・カタログ等の印刷媒体から、Web デザイン、CG 等の映像媒体まで幅広く多様化した現在の広告業界に対応できる人材育成を目指す。

② マンガ学科

1コマ漫画・4コマ漫画をはじめ、劇画・コミックなど様々な表現方法を身につける。漫画家・コミックイラストレーターとして必要な考察力・想像力を高め、商業雑誌で要求される表現テクニックや、漫画家のアシスタントに要求される技術を習得した人材育成を目指す。

③ 建築インテリア学科

建築設計や施工管理者として活躍できる技能や専門知識を身につけ、建築に関する法規や一般構造、家具デザインの基礎やデザイナーの資質などについても総合的に理解している。単に建築意匠や空間の装飾にとどまらず、ライフスタイルそのものを提案できる設計力、施工現場にて作り上げていく管理能力などを兼ね備えた人材の育成を目指す。

④ 二級建築士専攻科

二級建築士及び木造建築士の受験資格を有する者を対象に、国家資格の二級建築士に必要な知識と技術を身につけた人材の育成を目指す。

⑤ 自動車整備工学科

自動車整備士に必要な基礎知識と基礎技術の習得を第一の目標とし、通常授業以外に加え、企業との連携授業や各種検定資格取得講義を実施する。また、ビジネスマナーの習得、コミュニケーション能力の向上を図り、自動車業界で活躍できる人材育成を目指す。

⑥ 美容総合学科

高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成し、国家資格である美容師免許の取得を目指す。社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成すると共に、コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材育成を目指す。

⑦ 総合研究科

コース選択制により更なる専門性の追求とともに、上級資格や技術を修得できる人材育成を目指す。

卒業の認定に係わる手順と要件

1. 卒業の認定に係わる手順

当校における卒業及び進級の認定は進級・卒業審査で行っている。この審査では担任が予め作成した個人ごとの評価資料（定期試験結果、出席、資格の取得状況、卒業作品の評価、学費の納入状況等）を基に進級及び卒業の要件（下記参照）に照らし合わせ、それぞれの評価項目で基準に達していることを条件に認定を行っている。

また、進級及び卒業要件は「学生の手引き」に記載しており年度初めに学生に公表している。

2. 卒業の認定に係わる要件

卒業及び進級の認定については当校の「学則施行細則」に次のように定められている。

（以下抜粋）

（進級及び卒業の要件等）

第 11 条 学則第 25 条第 4 項の規程により、進級及び卒業の要件等について、次のとおり定める。

- (1) 進級及び卒業は、欠席日数（校長が定める欠席の日数（公欠）を除く）が出席すべき日数の 10 分の 1 を超えるもの、又は 10 分の 1 以内であっても各科で定める法定等の時間に満たない者は、進級又は卒業できない。
- (2) 進級・卒業の可否は、該当年度の全ての科目に対し、出席、定期試験、課題提出状況、作品完成度、素行、学習態度等を進級・卒業審査において総合評価する。
- (3) 進級・卒業の可否は、特別な事情を除き当該学年の学費等を完納していること。

（留年）

第 12 条 前条 (1) 又は (2) の要件（進級又は卒業）を満たさない者は留年させる。

留年となった者は、当該学年の全授業科目の修得（単位の修得）を認めず、次年度再履修させる。また、学則に定める授業料等の他、諸経費を徴収する。

（進級・卒業の認定）

第 13 条 校長は、学年末の成績会議（進級・卒業審査）を経て、授業科目の修得（単位の修得）、進級及び卒業等を認定する。